

2022年11月14日

各 位

会 社 名 株式会社CAPITA
代表者名 代表取締役 井 沢 宅 蔵
(スタンダード・コード：7462)
問合せ先 管理部マネージャー 新 島 裕 一
電 話 03-6277-5831

法人税等調整額の計上及び第2四半期累計期間業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2023年3月期第2四半期において法人税等調整額を計上するとともに2022年5月16日に公表しました2023年3月期第2四半期累計期間の業績予想と本日開示いたします「2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の第2四半期累計期間実績値と、下記のとおり差異が発生しましたのでお知らせいたします。

記

1. 法人税等調整額の計上について

当社は、現時点での将来の課税所得を見積もり、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、繰延税金資産の一部を取り崩し、法人税等調整額17百万円を計上することといたしました。

2. 業績に与える影響

上記につきましては、本日公表の「2023年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」において計上しております。

3. 2023年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績値の差異について
(2021年4月1日～2022年9月30日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	1,981	48	48	35	9.71
実 績 値 (B)	1,737	58	56	34	9.51
増 減 額 (B-A)	△244	10	8	△1	
増 減 率 (%)	△12.3	20.8	16.7	△2.9	
前期実績 (2022年3月期第 2四半期)	1,564	24	24	11	3.11

当社の主力事業である石油事業において、売上高は、原油価格が上昇したことにより販売数量が減少し、また、専門店事業においては、在庫確保が困難な状況により供給不足が続いた為、予想を下回りました。しかしながら新規事業の販売用不動産事業を含む不動産事業全体で営業利益が増加した為、営業利益全体では前回発表業績予想を上回る58百万円となり、税引前当四半期純利益55百万円を計上し上記1に記載の法人税等調整額等を計上したことにより、当四半期純利益34百万円となりました。

以 上